



## 時代の要請、女性の活躍推進への活動

株式会社 日本レーザー 代表取締役社長 近藤 宣之

日本は少子高齢化で人口減少時代に入り、労働力不足が懸念されていますが、労働力不足を補うには、経験者（シニア）の雇用延長や再雇用と、女性の働く場へのさらなる参加が必要です。

とりわけ、安倍首相が、「2020計画」、すなわち2020年に、企業の管理職の30%を女性にしようと訴えるなど、女性が安心して育児をしながら働けるように環境を整え、女性の能力を引き出し、活用することが経営上の課題とされています。

日本リーダーズ協会は男女雇用機会均等法が施行された1986年から、「レディース・フォーラム」をスタートさせ、その後、「ワークアップ・フォーラム」と改め毎年数回開催するなど、女性が活躍できる企業を目指しての取り組みを四半世紀以上も続けています。

私も今年から厚生労働省の「女性の活躍推進協議会」（座長：佐々木則夫東芝副会長）の委員として、こうした課題に取り組んでいます。が、「女性の活用」という「上から目線」ではなく、女性自身が「活躍」できるような、企業の仕組みや風土を醸成すべく、実践し、また広く発信していきたいと思っています。日本リーダーズ協会がこうした時代の要請に応えて、さらなる発展をされるよう期待しております。